

第5回箕面市障害者就労検討会議概要

1. 日時

令和7年10月29日（水）午前10時から12時

2. 場所

箕面市役所本館2階 特別会議室

3. 内容

報告、意見交換内容は以下のとおり

（1）事務局より優先調達について報告

- ・継続的に優先調達受注のある7事業所へのヒアリング結果を報告。
- ・本市における複数事業者間のシェア役務事例である市ごみ袋の製袋は、継続的な受注であることや工夫をすれば業務を担える点、天候に左右されず支援体制を組みやすいという点から業務量拡大を希望する声があった。
- ・受注が難しいものとして、短納期や仕様が未確定な物品、また作業日時が限定される業務などが挙げられた。作業内容や時期の調整・分担ができる体制があると、より受注しやすくなるとの意見があった。

（2）一般社団法人エル・チャレンジ福祉事業振興機構の担当者をオブザーバーとして招き、優先調達の議論を深めるべく共同受注窓口の現状と課題について講話および質疑応答を実施。

- ・共同受注窓口は進捗管理や納品・品質確保など多くの業務を担っており、これらに見合う運営資金の算出が必要。一般的な運営資金の調達源や、窓口の運営形態にどのようなものがあるかを確認。
- ・共同受注窓口の役割として、請け負える業務内容の把握とPR、事業所への技術支援、新規案件のコーディネートなどが含まれるが、受発注のマッチングにとどまらず、発注者・受注者双方への支援や機会拡大のための活動も重要であり、箕面市で共同受注窓口を検討する際は、その業務範囲を明確にする必要がある。

（3）報告書骨子の報告

- ・次回会議でこの検討会議の一旦の区切りを予定していることから、これまでの検討会議で議論した内容を報告書としてまとめるべく、骨子案を確認いただいた。

以上